

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 5 月 10 日(2024.5.10)

【公開番号】特開 2024-46683(P2024-46683A)
【公開日】令和 6 年 4 月 3 日(2024.4.3)
【年通号数】公開公報(特許)2024-061
【出願番号】特願 2024-22512(P2024-22512)
【国際特許分類】

H 0 1 L 21/683(2006.01)
H 0 1 L 23/36(2006.01)
H 0 1 L 21/3065(2006.01)
H 0 1 L 21/205(2006.01)

10

【F I】

H 0 1 L 21/68 R
H 0 1 L 23/36 D
H 0 1 L 21/302 1 0 1 G
H 0 1 L 21/205

【手続補正書】

20

【提出日】令和 6 年 4 月 30 日(2024.4.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

対象物を保持する保持装置であって、
板状に形成される板状部と、
板状に形成されて前記板状部を冷却する冷却部と、
前記板状部と前記冷却部との間に配置され、前記板状部と前記冷却部との対向する面間
を接合する接合部と、
を備え、
前記接合部は、シリコン系接着剤と、表面被覆窒化アルミニウム粒子と、を含み、
前記接合部の熱伝導率が $0.8 \text{ W} / (\text{m} \cdot \text{K})$ 以上であり、
前記接合部の最大せん断ひずみが 0.5 mm 以上であることを特徴とする
保持装置。

30

【請求項 2】

請求項 1 に記載の保持装置であって、
前記板状部は、セラミックを主成分とし、前記対象物を保持するための吸着電極を含み
、前記対象物を加熱するためのヒータ電極を含まないことを特徴とする
保持装置。

40